

皿倉登山鉄道株式会社

I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 吉田 茂人

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

10,000 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8 人	0 人	1 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員	8 人	0 人	1 人	7 人

7 市からのミッション

本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の誘致など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。

II 令和3年度事業実績

当社は、皿倉山においてケーブルカー及びスロープカー施設を市から借り受けて運行しており、皿倉山頂展望台の管理運営業務等を市から受託している。

令和3年度は、コロナ禍において県外宿泊観光やインバウンド等による夜間来訪が望めない状況であったため、4月～10月は22時まで、11月～3月は20時まで（イベント時は、22時まで）行っていた夜間運行を見直し、4月～6月・9月～10月は21時まで、7月～8月は22時まで、11月～3月は20時までとした。

上半期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月12日から6月20日まで、8月9日～9月30日までの80日間の運休を余儀なくされ、「星空ビアガーデン」の開催も中止した。下半期においては、北九州市と連携したイベントや北九州市の需要喚起策である「北九州魅力満喫パスポート事業」に参加し、ケーブルカー・スロープカーの利用促進に努めた。

1 輸送人員

新型コロナウイルス感染拡大による運休があったものの、北九州市の需要喚起策である「北九州魅力満喫パスポート事業」等の効果により、輸送人員は、ケーブルカーで前年度比 19.9% (37,267 人) 増の 224,367 人、スロープカーは前年度比 20.9% (37,434 人) 増の 216,553 人となった。

2 営業損益

営業収益は、1 億 3,409 万円 (前年度比 769 万円減) となった。

営業費は 1 億 4,532 万円 (前年度比 160 万円増) となり、当期の営業損益は 1,123 万円 (前年度比 930 万円減) の赤字となった。

3 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、営業外収益において緊急雇用安定助成金や雇用調整助成金等があったものの、402 万円 (前年度比 863 万円減) の赤字となった。

4 当期純損益

上記経常損益から特別損益を加え、法人税等を差し引いた当期純損益では、410 万円 (前年度比 864 万円減) の赤字となった。

Ⅲ 令和3年度決算

1 貸借対照表

令和4年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	137,088,910	流 動 負 債	32,926,170
現 金 及 び 預 金	101,762,504	買 掛 金	0
未 収 入 金	7,756,800	一 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	5,099,999
商 品	22,545,476	未 払 金	24,002,672
貯 蔵 品	850,705	預 り 金	346,399
立 替 金	4,112,050	仮 受 金	16,800
前 払 費 用	61,375	未 払 法 人 税 等	81,000
		未 払 消 費 税	1,892,300
		賞 与 引 当 金	1,487,000
固 定 資 産	23,738,764	固 定 負 債	37,056,017
鋼 索 鉄 道 事 業 固 定 資 産	22,417,244	長 期 借 入 金	35,900,017
そ の 他 事 業 固 定 資 産	1,249,290	退 職 給 付 引 当 金	1,156,000
投 資 そ の 他 の 資 産	72,230		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	69,982,187
長 期 前 払 費 用	62,230	(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	90,845,487
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	80,845,487
		そ の 他 利 益 剰 余 金	80,845,487
		繰 越 利 益 剰 余 金	80,845,487
		(うち 当 期 純 利 益)	▲4,101,823
		純 資 産 合 計	90,845,487
資 産 合 計	160,827,674	負 債 ・ 純 資 産 合 計	160,827,674

2 損益計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日 (単位:円)

科 目	金 額	
鋼索鉄道事業		
営業収益	89,767,594	
営業費	123,994,761	
営業損失		34,227,167
その他の事業		
営業収益	44,323,636	
営業費	21,327,787	
営業利益		22,995,849
全事業営業利益 (▲損失)		▲11,231,318
営業外収益		12,541,473
受取利息及び配当金	24,900	
雑収入	12,516,573	
営業外費用		5,330,978
支払利息	161,349	
雑支出	5,169,629	
経常利益		▲4,020,823
特別利益		
固定資産売却益		
特別損失		
固定資産除却損		
税引前当期純利益		▲4,020,823
法人税、住民税及び事業税		81,000
当期純利益		▲4,101,823

IV 令和4年度事業計画

平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、平成23年度に市からの出資金を減資したことにより、16億円を超える累積損失を解消し、平成24年度には減価償却費、維持管理費等の軽減を図るため、ケーブルカー等の事業資産を市へ譲渡した。

この資産譲渡に伴う減損処理により生じた欠損金についても、経営改善計画に基づく配置人員の見直しによる人件費の削減や、営業強化による収益の向上などにより、平成27年度末には解消した。

平成24年度以降は、毎年安定して利益を計上していたが、令和3年度は赤字となった。令和4年度は、7～8月に北九州市が実施する「公共施設へのおでかけ応援事業」による集客の増加に期待するとともに、より一層経営の効率化、利用者サービスの向上、皿倉山の観光振興に努める。また、ケーブルカー、スロープカーの運行にあたっては、安全を第一とする良質な運行サービスを提供するため、引き続き以下の項目について重点的に取り組む。

1 「経営改善計画」の継続と人材の育成

経営改善計画に基づく、効率的で適正な運行、業務執行体制のための改善を継続していくとともに、事業継続のための人材の育成に努める。

2 安全運行遵守

「令和4年度無事故達成」をスローガンに、①安全意識の醸成、日常的な現場巡視による実情の把握と業務マニュアルの実践・遵守の徹底、②車両、運転施設の徹底的な点検、整備の実践、③同種事業や関連会社との情報交換会などの研修を通じたスキルアップを図る。

3 増客、増収対策

令和4年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響による利用者の減少と感染拡大防止経費の発生により、経営環境は不透明な状況にあるが、政府及び関係機関の指導・指針に沿って、感染拡大防止に最善の努力をしていながら、その都度必要な対策を講じ、可能な限り増客、増収に努める。

(1)集客及び賑わい振興

新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、皿倉山の知名度の向上と環境学習・レジャースポットとしての定着を目指し、皿倉山の特性・優位性（夏は涼しい、景色、夜景、四季の変化）を活かした、イベントを体系的に連続して実施することにより、認知度の向上と費用対効果の改善を図る。

今年度は、「星空ビアガーデン」「サタデーナイトライブ」「クリスマスライブ」「バレンタイン大作戦」等のイベントを実施する予定である。

また、イベントの実施にあたっては、市・区役所及び帆柱自然公園愛護会、地域団体等との連携をより深めていく。

(2)夜間運行の実施

4月～10月は22時まで、11月～3月については、20時までとする。今後も、北九州市の夜景観光に寄与していく。

4 乗客サービス向上

「お客様ご意見箱」やイベント時のアンケートなどにより顧客ニーズを的確に把握し、サービスに反映するとともに、「笑顔で心からのおもてなし実践」を、日常業務や接遇研修の中で従業員全員に指導徹底していく。

V 令和4年度予算

予定損益計算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
鋼 索 鉄 道 事 業	
営 業 収 益	118,334
営 業 費 用	116,544
営 業 利 益	1,790
そ の 他 事 業	
営 業 収 益	55,757
営 業 費 用	28,779
営 業 利 益	26,978
全 事 業 営 業 利 益	28,768
営 業 外 収 益	4,424
営 業 外 費 用	3,044
経 常 利 益	30,148
特 別 利 益	
特 別 損 失	
税 引 前 当 期 純 利 益	30,148
法人税、住民税及び事業税	81
税 引 後 当 期 純 利 益	30,067

Ⅵ 役員名簿等

1 役員名簿

令和4年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	吉田茂人	
専務取締役	欠員	
取締役	武藤朋美	北九州市企画調整局長
〃	中西満信	北九州市財政局長
〃	北里勝利	北九州市産業経済局長
〃	丹田健二	北九州市建設局長
〃	島屋良一	北九州市八幡東区長
監査役	小島庸匡	公認会計士
〃	岩村恭代	北九州市産業経済局観光部長

2 市との特命随意契約の状況（令和3年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
皿倉地区観光 来訪者対応業 務	20,110	参加者の有無を確認する公 募を実施した結果、参加意思 を表明するものがいなかつ たため。	館内清掃	711	社会福祉 法人北九 州障害者 福祉事業 協会	随意契約 (特命)	障害者優先調達推 進法に基づく優先 発注のため。
			浄化槽保守	278	株式会社 椛組	随意契約 (特命)	山上という寒冷差 が大きい環境で、夜 間を含め臨機応変 に緊急対応できる 能力を有するため。
			昇降機設備保守	1,386	ダイコー 株式会社	随意契約 (特命)	対象設備の技術情 報を保有する同社 しか、速やかな故 障等への対応がで きないため。
			自家用電気工作 物保守	475	中原電気 管理事務 所	随意契約 (特命)	他の電気動力設備 の保守管理と一体 的に実施すること で、円滑な業務の 実施が可能である ため。
			消防設備保守	66	株式会社 東和防災 システム	随意契約 (特命)	少額随意契約(1 件5万円以下) 2件
			空調設備保守	176	スガハラ テクノ株 式会社	随意契約 (特命)	山上という寒冷差 が大きい環境で、夜 間を含め臨機応変 に緊急対応できる 能力を有するため。
皿倉山ケーブ ルカーオーバ ーホール等業 務	17,825	参加者の有無を確認する公 募を実施した結果、参加意思 を表明するものがいなかつ たため。	皿倉山ケーブル カー整備業務 (原動・対動滑 車整備、ロープ 用さらばね、ド アハンガー用ロ ーラー更新)	17,406	日本ケー ブル株式 会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品 したケーブルカー 施設で、業務実施 にあたっては特殊 な専門知識や技術 を必要とし、また、 作業を実施するた めの専門的な設 備・施設も備えて いる唯一の業者で あるため。
			皿倉山ケーブル カープラットホ ームに設置して いる車イス用階 段昇降機の部品 交換及び動作確 認業務	199	アビリテ ィーズ・ ケアネッ ト株式会 社	随意契約 (特命)	同社が納品した機 械であり、業務実 施にあたっては特 殊な専門知識や技 術を必要とし、ま た、作業を実施す るための専門的な 設備・施設も備え ている唯一の業者 であるため。
			皿倉山ケーブル カー車両抗菌コ ーティング業務	220	小田商會 株式会社	随意契約 (特命)	業務実施にあつ ては特殊な専門知 識や技術を必要と し、また、作業を

							実施するための専門的な設備・施設も備えている業者であるため。
皿倉山ケーブルカー非常用制動機整備業務	579	皿倉登山鉄道(株)以外に履行できる業者がないため。	再委託なし				
帆柱自然公園及び皿倉登山道維持管理業務	3,236	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	帆柱自然公園初日登山等警備業務	415	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
合計	41,750		合計	21,332			